

## セラニーズ、SO.F.TER.グループの買収を完了

機能性材料分野における世界的リーダーシップの地位を拡大；大手製造者の買収により ETP および TPE ポートフォリオを拡張

ダラスおよびイタリア、フォルリ（2016年12月1日）—グローバルテクノロジーと機能性材料を提供するセラニーズ・コーポレーション（NYSE: CE、本社：テキサス州ダラス市、以下「セラニーズ」）は、イタリア、フォルリに拠点を置く世界最大手の独立系熱可塑性プラスチック・コンパウンダである SO.F.TER.グループの買収取引が完了したことを発表しました。

セラニーズは、同グループの熱可塑性エンジニアリングプラスチック（ETP）および熱可塑性エラストマー（TPE）を含む包括的製品ポートフォリオならびにすべての顧客契約、製造・技術・商業関連の施設を獲得しました。

今回の買収により、セラニーズのグローバルなエンジニアードマテリアルズのプロダクトプラットフォームはほぼ倍増し、世界トップクラスの運用モデル、技術および業界ソリューション力、プロジェクトの経路がさらに広がります。

「この拡張されたポートフォリオは、我々のグローバルなエンジニアードマテリアルズ事業を補完するものですが、セラニーズのマテリアル機能と運用モデルに統合されることとなります。これによって、機能性と設計自由度が材料選択にあたり不可欠である非常に多様な応用分野の顧客を魅了する機会が増えるでしょう」と、セラニーズのエグゼクティブバイスプレジデント兼マテリアルソリューションズの社長であるスコット・サットンが述べています。「加えて、SO.F.TER.グループの高度な最新式製造施設および製品ポートフォリオが、セラニーズの成長、投資、相乗作用を高める手段を提供します」

取引の財務内容は明らかにされていません。セラニーズは、SO.F.TER.グループを買収する契約の締結を2016年10月に発表しました。

### セラニーズについて

セラニーズは、ほとんどの主要産業や民生用途向けの、独自の化学ソリューションと特殊マテリアルの製造におけるグローバルなテクノロジーリーダーです。セラニーズの相補う2つのビジネスコアであるアセチルチェーンとマテリアルソリューションズでは、セラニーズのグローバルな化学、テクノロジー、ビジネス上の知見を顧客や社内の価値を創造するためにフルに活用しています。顧客のもっとも重要なビジネスニーズを解決するためのパートナーとして、セラニーズは、セラニーズ基金を通じて私たちのコミュニティや世界にプラスの影響を与えるべく努めています。テキサス州ダラス市に拠点を置くセラニーズは、世界中におよそ7,000名の従業員を擁し、2015年には売上高57億米ドルを計上しました。セラニーズとその製品群については、[www.celanese.com](http://www.celanese.com) または [www.celaneseblog.com](http://www.celaneseblog.com) のブログをご覧ください。

すべての登録商標は、Celanese International Corporation またはその関連会社が所有しています。

将来の見通しに関する記述 (Forward-Looking Statements)

本リリースには、「将来の見通しに関する記述」が含まれている場合があります。これらの記述には、セラニーズの計画、目的、目標、戦略、将来の売上や業績、設備投資、資金需要、その他履歴情報ではない情報が含まれます。本リリースで使用される「展望」「予測」「見積もる」「予定する」「予期する」「推定する」「計画する」「企図する」「信ずる」ならびにそれらのバリエーションや類似の表現は将来の見通しに関する記述を識別する目的で書かれたものです。将来の見通しに関するすべての記述は、現時点における期待や信念、様々な推測に基づくものであり、株式取得の発表を含みます。それによって、セラニーズやその顧客が利益を得る、またはその見込みの正確性を証明するというような保証は一切ありません。様々なリスクおよび不確定要素によって、実際の結果が、今回の買収を含め、本リリースに含まれる将来の見通しに関する記述と実質的に異なる場合があります。セラニーズが制御不能な多くの要因によって、実際の結果が、将来の見通しに関する記述で表現されたものと著しく異なる結果となる可能性があります。それ以外のリスク要因としては、証券取引委員会に提出するレポートに記載されている様々な要素も含まれます。将来の見通しに関するすべての記述は、記載日現在についてのみ記述されたものであり、セラニーズは記述日現在以降の出来事や状況を反映させるため、もしくは予想されたまたは予想外の出来事や状況の発生を反映させるために、将来の見通しに関するいずれの記述についても、一切更新する義務を負いません。